

# 首里城復元の取組について

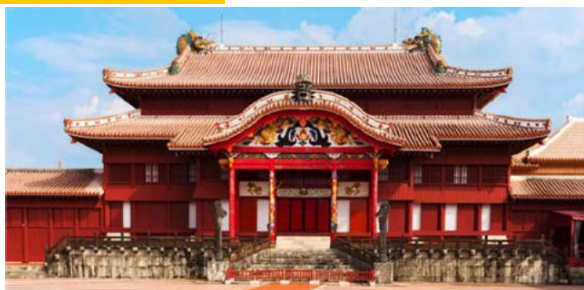
---

令和5年6月

# 首里城復元に向けた取組

- 首里城は、琉球の建築文化や技術の粋を結集した城郭で、琉球王国時代（1429～1879年）は王宮・王府として使用。1925年に正殿が国宝に指定。1945年の沖縄戦で焼失。
- 首里城復元の機運を受け、沖縄復帰記念事業として行う国営公園事業として、平成4年に正殿等を復元。平成12年に世界遺産登録。令和元年10月の火災で正殿等9棟の建物が焼失。
- 現在、首里城復元のための関係閣僚会議(議長:内閣官房長官)で決定された「首里城正殿等の復元に向けた工程表」に基づき、令和4年11月に首里城正殿の本体工事に着工し、令和8年の復元に向けた取組を進めている。

## 首里城の状況



首里城正殿（火災前）



▲火災直後



現在（R5.5）の様子 ▶

## 首里城復元のための関係閣僚会議

首里城正殿等の復元に向け、関係行政機関の緊密な連携の下、政府一体となって対応するため、首里城復元のための関係閣僚会議を開催。第4回会議（令和2年3月27日）において「首里城正殿等の復元に向けた工程表」を決定。

### 首里城正殿等の復元に向けた工程表（抜粋）

前回復元時の設計・工程を踏襲することを基本とし、今般の火災を受けて、防火対策の強化及び材料調達の様相の変化等の反映の観点で踏まえ工程を定めることとする。首里城正殿について、令和2年度（2020年度）早期に設計に入り、令和4年（2022年）中には本体工事に着工し、令和8年（2026年）までに復元することを目指すこととし、北殿や南殿等を含め復元に向けた取組を進めることとする。その際、復元過程の公開や観光振興など地元へのニーズに対応した施策を推進する。

### 首里城復元のための関係閣僚会議 構成員

議長	内閣官房長官
副議長	内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策） 国土交通大臣
構成員	総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、農林水産大臣

# 首里城復元に向けた取組(現在の進捗状況)

- 復元に用いる木材を保管する木材倉庫等の整備を昨年9月に完了し、大径材の搬入・柱への加工を実施。
- 昨年11月3日に起工式を行い正殿復元工事に着手。現在、復元中の正殿を雨・風から守る素屋根の整備を実施しており、8月頃に完成予定。また、「見せる復興」の一環として、木材倉庫に見学デッキを設け、復元現場の様子を来園者に伝える取組を展開。
- 正殿本体については、7月頃から礎石等の基礎の設置を開始し、9月頃に立柱、軸組建方を開始予定。

## ○現場の状況(5/16撮影)



※首里城復元に向けた技術的な検討(防災関係、木材・瓦類関係、彩色・彫刻関係等)については、「首里城復元に向けた技術検討委員会」で実施

## ○大径材を柱へ加工(木材倉庫)



## ○「見せる復興」の展開



見学デッキに見学窓や映像モニター等を設置

# 正殿等の復元に向けた今後のスケジュール

- 首里城正殿は、令和4年11月3日の起工式後に本体工事に着工し、令和8年秋に完成予定。工事期間中は復元工事の過程の公開等を行う予定。
- 北殿・南殿等の復元の進め方やスケジュール等については、今後引き続き検討していく予定。

(年度)

	R4 正殿本体工事着工	R5	R6	R7	R8 正殿完成
正殿復元	発注手続き(WTO)	素屋根※整備		素屋根解体	
		木材加工	木工事	屋根工事	塗装・彩色
				設備工事	外構工事
式典・行催事 関係	起工式・木曳式	※立柱や棟上げ等の節目となる工事工程にあわせて一般向け特別公開イベントの開催を検討			完成式
	※素屋根: 復元工事中の正殿を風雨から保護するための覆いとなる建物				